

別記様式（第2条関係）

会議結果報告書

平成27年2月20日

会議の名称	第2回志木市男女共同参画基本計画策定委員会
開催日時	平成27年2月20日（金） 午後3時～午後4時まで
開催場所	市役所 3階 301・302 会議室
出席者職氏名	≪委員長≫中村室長（人権推進室） ≪副委員長≫塩盛主幹（福祉課） 石塚主幹（秘書広報課）、大塚主幹（人事課） 真島主幹（事務管理課）、古屋主幹（市民活動推進課） 細谷主幹（総合窓口課）、須田専任主幹（産業観光課） 鈴木主幹（子育て支援課）、渋谷主幹（健康づくり支援課） 岡野主幹（都市計画課）、島村指導主事（学校教育課）、 桶田副課長（生涯学習課） <p style="text-align: right;">（計15人）</p>
欠席者職氏名	佐野主幹（財政課）篠崎主幹（生活安全課） 末永副課長（環境推進課）阿部副課長（高齢者ふれあい課） <p style="text-align: right;">（計 4人）</p>
説明員職氏名	人権推進室根岸主任 （計 1人）
議 題	（1）第5次志木市男女共同参画基本計画・骨子案について
結 果	本日の意見をもとに骨子を整理し、3月に開催予定の審議会において骨子を決めていく。 次回の検討委員会は4月以降になり、その際には指標の目標値などを議論させていただく。

事務局職員職氏名	山本主幹、根岸主任 コンサルタント 2名
その他必要事項	
会議内容の記録（経過、結果等）	
<p>(1) 第5次志木市男女共同参画基本計画・骨子案について</p> <p>①基本目標Ⅰについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本目標Ⅰは「あらゆる男女の人権が尊重されるまち」となっているが、違和感があるので「あらゆる」と「男女」の順番を入れ替えて「男女のあらゆる人権が尊重されるまち」とする。 ・課題1の「男女平等の意識を育む環境づくり」と課題2の施策の方向性に「子どもの頃からの男女が互いの性差を理解し」という表現は重複していないか。 →課題1は男女平等の全体的な範囲を示すものであり、課題2は性差という部分に限定したものであるため重複したものにはなっていない。 <p>②基本目標Ⅱについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題1では「性的いやがらせ」を含めた表現に変更したので、指標についても性的嫌がらせに関するものを含める必要性はないか。 →アンケートからは指標をとれないが、指標として活用できる既存のデータがないか確認をしたうえで検討する。 <p>③基本目標Ⅲについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題2の指標③保育スタッフ登録者数は、人の入れ替わりがあるが、長い間人数に増減がない状況である。制度としてすでに浸透していると考えられるが指標としておくのは適切であるか。 →意見を参考にさせていただき、検討する。 ・国では長時間労働抑制に関する方針も出ているので指標の参考にしてはどうか。 ・女性の起業や創業に関する視点が抜けているのではないか。 <p>④基本目標Ⅳについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本目標に「市民力」という表現があるが、課題1に「市役所における」という表現があるために違和感がある。 →課題1の施策の方向②男性職員の育児・介護休業制度などの積極的な活用促進への取組を基本目標Ⅲの課題1の④として移行する。 	

→課題1と課題2を1つにまとめることとし、課題1の施策の方向①③を課題2の「市と市民との協働による男女共同参画の推進」に移行する。

・指標の町内会の女性の会長・副会長の割合については、町内会数が37ということを見ると、1名変わるだけで割合としては大きく変わる。

→民生委員の割合を指標とすることが検討できないか。現状は女性が2/3で男性が1/3である。男性の高齢者の見守りは男性の民生委員のほうが良いこともあり、男女共同参画を推進するということであれば民生委員の構成を指標とするのは良いのではないか。

→町内会のみではなく、地域団体の女性の役員の割合などを合わせた割合でも検討できないか。

→意見を参考にさせていただき、検討する。

・指標に追加した「SeeSawの認知度」であるが年に1回しか発行していないため、男女共同基本計画の周知にはつながりにくい。

→男女推進月間に実施しているイベントの認知度やゆるキャラの認知度などに変更した方がよいのではないか。

⑤その他

・若年層にデートDVなどが問題になっていることや、アンケートの結果から男女の役割の考え方について若い男性においては男女共同参画の意識が薄い傾向があると考えられる。若年層に視点をおいた取組は必要ではないか。

→そのような視点も含めて、基本目標Iの課題2の取組の施策の方向で「子どもの頃からの男女が互いの性差を理解し」という表現を追加している。意見は参考とさせていただく。

・主婦の1日の労働単価をどれくらいに感じるかという質問があってもいいのではないか。

→今回のアンケートは実施済みであるが指標を検討する際に、質問として加えておけばよかったと思うものもある。意見を参考にさせていただく。

備考 会議内容の記録には、発言者の立場を明記するとともに、発言の趣旨が容易に理解できるよう簡潔明瞭に記載すること。